株式会社 中村屋

第 90 期

報 告 書

平成22年4月1日▶平成23年3月31日

証券コード：2204

【株主の皆様へ】

株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災の被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、皆様の安全・健康と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

国内経済はデフレや円高の長期化に加えて、震災による産業界へのダメージなど、一層厳しさが増すものと思われます。このような環境の中、当社は創業110周年を迎え、さらなる歴史を築くべく「高効率経営の実現」と「成長モデルの確立」に向けて、強い信念を持って努力する所存です。今後とも中村屋をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

ここに、第90期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）中村屋グループにおける事業の概要をご報告申し上げます。

代表取締役社長　染谷　省三

営業の経過および成果

菓子・食品業界では、消費マインドの低下が引き起こす節約、低価格志向といった購買行動に加え、少子高齢化に伴う市場の縮小、食の安全・安心や健康志向の高まりなど、消費スタイルの変化にも対応すべく、一層の企業努力が求められております。

【持続的成長の実現に向けた取組み】

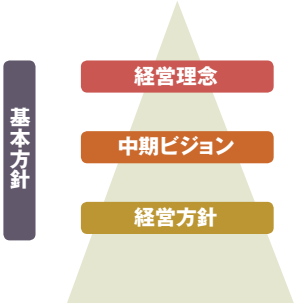
このような環境のもと、当中村屋グループは中期経営方針である「お客様満足の追求」「品質第一主義の徹底」「自主自立の確立」に基づき、企業価値向上に向けて環境の変化や競争に強い企業グループの実現に努めてまいりました。具体的には、お客様の価値観の変化に合わせて定番商品の品質改良を行うとともに、新たな価値を持った商品を提案するなどP：プライスに対するQ：クオリティの高い商品・サービスの提供を心がけ顧客満足の実現に努めました。また、様々な切り口から成長市場に参入し、成長モデルの再構築を進め、持続的成長の実現に向けて取り組んでまいりました。さらに、カリーのキャンペーン活動など、ブランド訴求による事業機会の拡大にも注力いたしました。また、AIBフードセーフティ（GMP）に基づいた監査体制の強化・徹底、業務プロセスの改善、調達コスト削減にも取り組んでまいりました。その他、内部統制システムや危機管理体制の強化を図るとともに、環境保全活動、WFP国連世界食糧計画への支援、美術館や博物館の企画展への協力といった当社ならではの社会貢献活動にも取り組んでまいりました。

【成果の報告】

以上のような経過の中で、下期において増収となり、当連結会計年度の売上高は41,022百万円　前期比135百万円、0.3%の増収となりました。

利益面におきましては、売上高増収に伴い粗利益は増加したものの、輸送経費の増加や広告・宣伝に伴う諸経費の増加もあり、ローコスト施策を積極的に推進いたしましたが、連結経常利益は1,164百万円　前期比107百万円、8.4%の減益となりました。また、連結当期純利益は、災害に伴う費用の発生等の特別損失の増加もあり、599百万円となり、前期比136百万円、18.5%の減益となりました。

■中期経営計画【2011～2013】



「新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する」

2011年～2013年を**「成長戦略再構築の3年間」**と位置づける

経営理念を実現するための必須条件**「持続的成長の実現」**を達成させる
- **成長モデルの確立**
- **高効率経営の実現**
- **社会的責任の遂行**

今後の課題と戦略

今後の菓子･食品業界をみますと、少子化による市場の縮小、原材料価格や原油の高騰、また将来的にはTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）加入による競争激化も懸念され、厳しい状況が続くものと思われます。

【市場変化への対応の強化】

このような環境の中で、当社は創業110周年を迎えるとともにさらなる歴史を築くべく、中村屋グループとして「中期経営計画2011～2013」を策定し、創業者の経営哲学に基づいた経営理念である「新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する」を目指してまいります。中期の在り方を「成長戦略の再構築」の期間とし、そのために必要な「持続的成長の実現」の達成に向けて「成長モデルの確立」「高効率経営の実現」「社会的責任の遂行」を経営方針に掲げ、事業ごとに重点戦略テーマに資源を集中させるとともに、事業のサポート機能と連携することで市場変化への対応をより強力に推進してまいります。

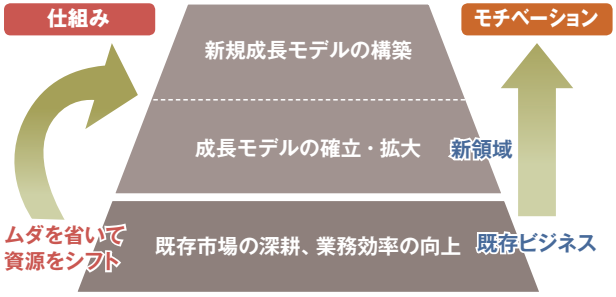
【新たな事業構造構築への挑戦】

具体的には、買うモノ・買う場所・買う基準の変化に敏感に反応し、既存事業の深耕と業務効率の向上を図りながら、今、求められている価値を具現化した商品、パッケージの開発・育成に努めます。さらに、菓子の新規流通への展開、健康食品の開発、海外市場の開拓、通販ビジネスの拡大ならびに新宿本店の再開発をはじめとする保有資産活用計画の推進など新規の成長モデルを創造し、そこに投入資源をシフトすることにより、新たな事業構造の構築に果敢に挑戦してまいります。

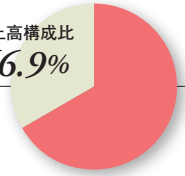
以上の諸施策を、仕事の質や能力を向上させる「仕組み」と従業員の「モチベーション」のマネジメントにより、グループ一丸となって実行することで、着実に成果を創出し、目標を達成することで社会に貢献することを目指してまいります。

株主の皆様におかれましても、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■成長戦略テーマの展開



菓子事業



売上高27,431百万円
（前期比495百万円　1.8%増）

おいしさの追求と「安全・安心」の確保に努め、商品力の強化を図るとともに販路拡大にも取り組み、新しいショップの開発・出店を進めました。

和洋菓子類では、「うきみもよう」を一層しっとりした食感にするなど、多面的な品質改良に取り組みました。新商品ではマカロンのような見た目の洋風まんじゅう「あんまかろん」、層状に焼いた口どけのよい生地で和の素材をサンドした「絹ふわり」を発売しました。

パックデザート類では、人気の高い和風デザート「黒糖わらび餅」やバラエティ豊かな詰合わせギフト「夏彩々」など9品目を新発売しました。

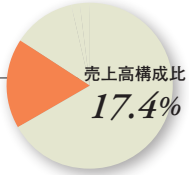
中華まんじゅう類は「安心・安全・上質化」をキーワードに新商品の開発や主力商品の品質改良を行いました。また人気漫画「ONE PIECE　ワンピース」の登場人物をテーマにした中華まんなどを新発売しました。

店舗展開面では、「円果天（えんかてん）」「ISSUI（イッスイ）」に続き、黒砂糖の味わいを生かした商品を取り扱う「九六㊀八（くろいちや）」、季節感を敏感に映した商品構成で展開する和菓子ショップ「季富久庵（きふくあん）　春秋（しゅんじゅう）」、初の米菓専門店となる「田ノ歩（たのほ）」といった、より専門性を高めた店舗を出店いたしました。

絹ふわり

〈季富久庵 春秋〉
季富久どら焼き

食品事業



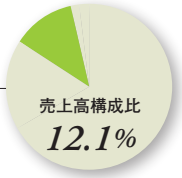
売上高7,142百万円
（前期比31百万円　0.4%減）

業務用食品事業では、主要取引先であるファミリーレストランの売上高に依然として回復の兆しが見えない中、当社の強みである調理技術を生かしたメニューを積極的に提案する一方で、新規取引先の開拓にも注力しました。

市販食品事業では、インドカリーシリーズの発売10周年キャンペーンを本年2月から実施し、売上高の拡大を図りました。また、10周年記念商品として、美味しさを追求した高品質・高価格商品「極める」シリーズ2品目を発売し、ブランド力の強化に努めました。

極める

飲食事業



売上高4,975百万円
（前期比403百万円　7.5%減）

本店では、店頭実演による「手包み天成肉饅」を期間限定で発売し、ご好評をいただきました。その他、料理教室などのイベントを開催し、社会貢献活動にも積極的に参画しました。

直営レストランでは、「オリーブハウス」「インドカリーの店」のメニューの充実を図るとともに、新たな取組みとして、「ナチュラル」「シンプル」「癒し」をキーワードにオリーブハウス「吉祥寺アトレ店」「国分寺店」を全面改装し、女性一人でも気軽に入れるお店を提案してまいりました。一方で、不採算店の閉鎖を行い、利益の向上に努めました。

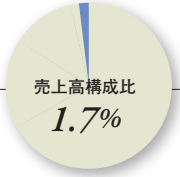
不動産賃貸事業

売上高790百万円
（前期比38百万円　4.6%減）

不動産賃貸事業では、笹塚NAビルにおいて省電力照明設備の導入や東京都環境確保条例改正への積極的な対応を行い、機能面だけではなく環境にも配慮したオフィスビルを目指し、入居率100%を維持しました。

笹塚NAビル

その他事業



売上高685百万円
（前期比112百万円　19.5%増）

スポーツ事業では、「NAスポーツクラブA−1笹塚店」を基幹店に、オープン1周年を迎えた町田店との複数店舗経営によるスポーツクラブ運営の安定化を目指しました。顧客満足の向上を第一に、キッズプログラムの拡充、アウトドアイベントの開催など、多様化したニーズに対応したオリジナルメニューを提供し、会員数確保に努めました。

A-1 キッズプログラム

NAスポーツクラブA-1町田店

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当期（平成23年3月31日現在）	前期（平成22年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	11,582	11,292
固定資産	27,369	28,225
有形固定資産	21,821	22,270
無形固定資産	364	564
投資その他の資産	5,184	5,390
資産合計	38,951	39,516
負債の部		
流動負債	8,493	8,673
固定負債	8,532	8,677
負債合計	17,025	17,351
純資産の部		
株主資本	22,163	22,163
資本金	7,469	7,469
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	7,278	7,272
自己株式	△ 162	△ 157
その他の包括利益累計額	△ 237	3
その他有価証券評価差額金	△ 237	3
純資産合計	21,926	22,166
負債・純資産合計	38,951	39,516

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当期（平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで）	前期（平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで）
売上高	41,022	40,887
売上原価	22,904	23,402
売上総利益	18,119	17,485
販売費及び一般管理費	17,029	16,274
営業利益	1,089	1,212
営業外収益	153	115
営業外費用	79	55
経常利益	1,164	1,271
特別利益	285	0
特別損失	397	110
税金等調整前当期純利益	1,051	1,162
法人税、住民税及び事業税	261	481
過年度法人税等戻入額	—	△ 69
法人税等調整額	191	14
少数株主損益調整前当期純利益	599	735
当期純利益	599	735

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

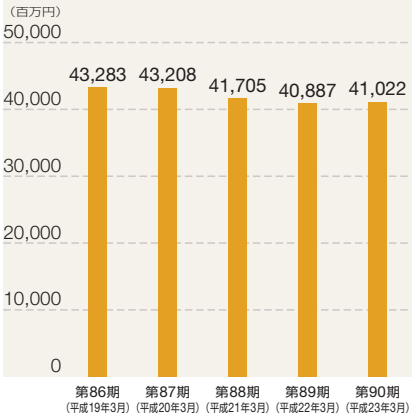
（単位：百万円）

科　目	当期（平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで）	前期（平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,912	2,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 516	△ 1,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 851	△ 668
現金及び現金同等物の増減額	545	225
現金及び現金同等物の期首残高	3,510	3,285
現金及び現金同等物の期末残高	4,055	3,510

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

業績ハイライト

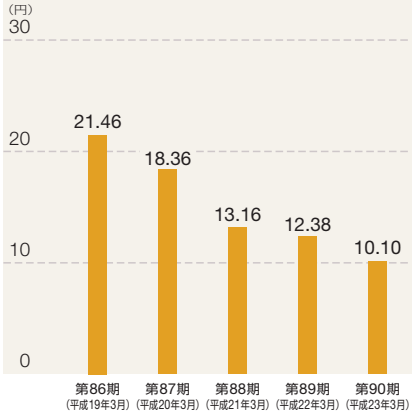
連結売上高



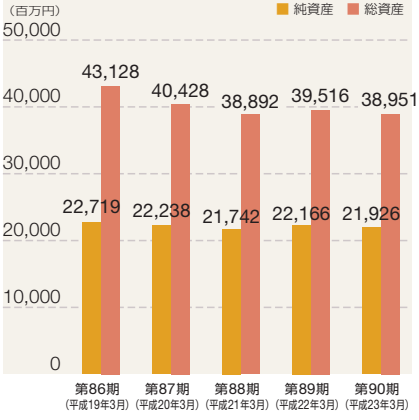
連結経常利益

連結当期純利益

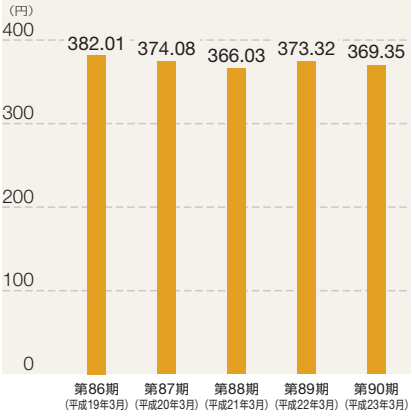
一株当たり当期純利益



純資産／総資産



一株当たり純資産



メセナ活動

中村屋が舞台の企画展に協力

中村屋の創業者 相馬愛蔵・黒光夫妻との出会いがきっかけで芸術に目覚めた彫刻家　荻原守衛（雅号 碌山）。彼を中心に、明治末から大正にかけて、中村屋には多くの芸術家が出入りしました。その様子は「中村屋サロン」と称され、近代美術史にその名を刻んでいます。そんな中村屋を舞台にした企画展が、中村屋ゆかりの地で開催されました。

碌山美術館

碌山作「女」をパッケージにあしらったカリーとラスクを販売

新宿中村屋サロンの美術家たち 展 ―生命の芸術表現と思潮―

相馬愛蔵の故郷 長野県安曇野市にある碌山美術館で、企画展「荻原守衛没後100年記念　新宿中村屋サロンの美術家たち―生命の芸術表現と思潮―」が開催されました。当社は所蔵作品7点の貸し出しやオリジナル土産の発売に協力。NHK「日曜美術館」で特集として取り上げられるなど、注目度の高い企画展でした。

〔開催期間：平成22年7月24日～ 8月29日〕

両方の企画展で展示された中村彝（つね）作「小女」

新宿歴史博物館

新宿中村屋に咲いた文化芸術 展

企画展の入口

新宿区立新宿歴史博物館で企画展「新宿中村屋に咲いた文化芸術」が開催されました。中村屋サロンのメンバーはもちろん、明治から昭和初期にかけて当社に集った文化人にもスポットを当てた内容で、中村屋は所蔵作品26点を貸し出しました。また、関連イベントとして講演会やカリーの料理教室を開催するなど、多方面で協力しました。期間中に発生した東日本大震災により一部のイベントの中止、夜間開館の自粛等もありましたが、多くの方にご来場いただきました。〔開催期間：平成23年2月19日～4月10日〕

ものづくり力

「健康」に着目した商品開発・研究開発

商品開発 十穀美感（じゅっこくびかん）

お客様の健康志向の高まりを受け、「健康」を意識した商品を開発しました。肥満防止に役立つとされる共役リノール酸（CLA）。その機能に着目し、日清オイリオグループと共同で、べに花由来CLAを配合したひと口サイズのクッキー「十穀美感」を開発しました。小麦、大麦など10種の穀物をベースにCLAを1袋あたり約1g配合したクッキーで、皆様のカラダづくりをサポートします。平成22年12月からネット通販等で販売しています。

研究開発 小豆の特性の共同研究

和菓子で使われる餡。中村屋は餡の原料となる小豆の研究が盛んな帯広畜産大学と共同研究を行っています。「小豆煮汁添加羊羹のコレステロール抑制効果」を研究テーマに、平成22年9月3日に日本食品科学工学会でその成果を発表しました。今後も研究開発を進め、おいしさと健康機能の双方を満たした羊羹の開発に生かしていきます。

社会貢献

東日本大震災への支援活動

東北地方を中心に甚大な被害をもたらした東日本大震災。中村屋は「食」に携わる企業として、被災地へレトルト食品約10万食をお届けするとともに、義援金として1,000万円を寄付しました。

支援物資を積んだトラック

概要

創業	明治34年12月30日
設立	大正12年4月1日
資本金	74億6,940万円
営業内容	各種和洋菓子・パン・その他食料品の製造、販売ならびに飲食店の営業
従業員数	850名

（上記の他臨時従業員が期中平均1,209名おります。）

主な事業所

本社	埼玉工場	北営業所
東京事業所	つくば工場	札幌営業所
研究開発室	中央営業所	名古屋営業所
神奈川工場	東営業所	大阪営業所
食品工場	南営業所	福岡営業所

グループ会社

黒光製菓株式会社　株式会社ハピーモア
株式会社エヌエーシーシステム

役員

代表取締役社長	染谷 省三	監査役	原 秋彦
取締役兼専務執行役員	小林 政志	監査役	山本 光介
取締役兼常務執行役員	小林 恒	執行役員	三方 千博
取締役兼常務執行役員	二本松 壽	執行役員	御厨 久司
取締役兼執行役員	藤木 裕人	執行役員	小庄 秀範
取締役兼執行役員	杉山 敏行	執行役員	飯田 次雄
取締役兼執行役員	鈴木 達也	執行役員	赤石 実
取締役	荒井 英夫		
常勤監査役	長峰 一眞		
常勤監査役	波多 正		

（注）取締役荒井英夫氏は社外取締役であります。
監査役原秋彦・山本光介の両氏は社外監査役であります。

※平成23年6月29日現在

株式の状況

発行可能株式総数	199,044,000株
発行済株式の総数	59,762,055株

（注）発行済株式の総数には、自己株式（398,873株）が含まれております。

株主数	8,844名

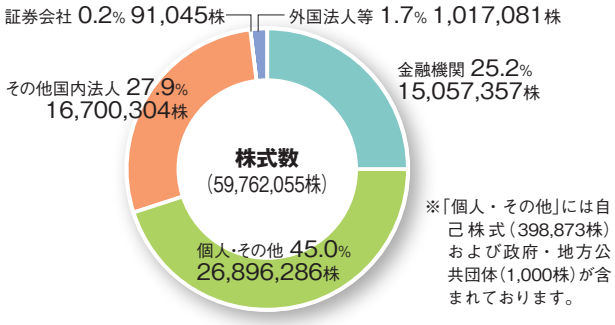
（注）前期末に比し169名増加いたしました。

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
中村屋取引先持株会	4,826	8.1
株式会社みずほ銀行	2,925	4.9
三井不動産株式会社	1,800	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,537	2.6
日本製粉株式会社	1,301	2.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,151	1.9
日東富士製粉株式会社	1,110	1.9
豊田通商株式会社	1,100	1.9
株式会社りそな銀行	1,000	1.7
中村屋従業員持株会	965	1.6

（注）持株比率は、自己株式（398,873株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式（398,873株）および政府・地方公共団体（1,000株）が含まれております。

【株主優待のご案内】

株主様の日ごろのご支援・ご愛顧にお応えするために、毎年3月31日の最終株式名簿に記録された1,000株以上ご所有の株主様に対し、株主優待品を、6月中旬～下旬にお届けいたしております。

ご所有株式数に応じ、優待品「A」・「B」または「C」から選択していただきます。

優待商品（イメージ）

所有株式数	A	B	C
1,000株 ～ 3,000株未満	2,000円相当の自社商品	株主優待券1冊 （15%割引、20枚）	社会貢献活動団体へ寄付2,000円
3,000株 ～ 5,000株未満	3,000円相当の自社商品	株主優待券2冊	社会貢献活動団体へ寄付3,000円
5,000株以上	5,000円相当の自社商品	株主優待券2冊 3,000円相当の自社商品	社会貢献活動団体へ寄付4,000円 株主優待券1冊

※　株主優待券のお取扱いは46店の指定店舗に限り、特殊商品を除く買物・飲食にご利用いただけます。
　　お取扱い店舗の変更の場合は弊社ホームページに掲載させていただきます。
※　自社商品は、弊社で決めさせていただき、ご選択時にご案内いたします。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により掲載します。ただし電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社となります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほインベスターズ証券 全国本支店

ご注意　支払明細発行は上記特別口座の場合の「電話お問合せ先」までご連絡ください。
　　単元未満株式の買取・買増以外の株式売買は出来ません。

INFORMATION
インフォメーション

中村屋に関する情報はホームページでご覧になれます。

http://www.nakamuraya.co.jp/

- 商品情報、店舗情報、豆知識など、中村屋に関する様々な情報が満載。
- 株主・投資家の皆様に向けたIR情報も掲載しています。

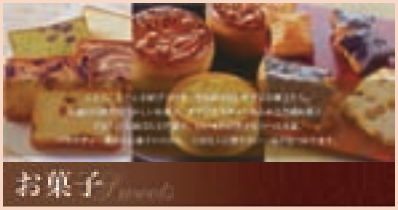
新宿中村屋オンラインショップ

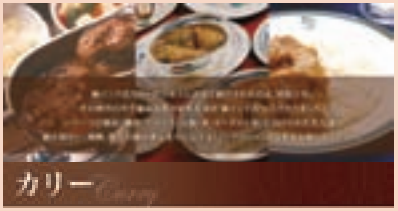
るくーるるくる
Ruku-ru Rukuru

新宿中村屋のこだわりの
カリー・中華まん・お菓子・
季節の贈り物をお届けします。

るくーるるくる　検索

http://www.nakamuraya.jp/





株式会社 中村屋

住　所：東京都新宿区新宿三丁目26番13号
電　話：03-3352-6161（大代表）
e-mail：webmaster@nakamuraya.co.jp
ＵＲＬ：http://www.nakamuraya.co.jp/
〈お問合せ先〉総務・法務部
電　話：03-5454-7111

表紙の写真「インドカリー」
昭和2年に純インド式カリーを発売。以来、長く愛されてきた味は、本店、インドカリーの店のほか、ご家庭用として缶詰やレトルト食品としても展開し、様々なシーンでご賞味いただけます。
●本報告書の商品写真はイメージです。